

子どもの「書く」力をのばすために

～文化的言語的に多様な背景を持つ子どもたち（小学生～高校生）の
「書く」力の評価と支援/指導～



2027年1月30日（土）13:00～16:00 <理論編>

31日（日）13:00～16:00 <実践編>

🎵 1/31（日）10:00-11:00 佐野先生と相談&茶話会（申込済の希望者）

講師：佐野愛子 氏

（立命館大学文学部国際コミュニケーション学域 教授）

<https://www.ritsumeai.ac.jp/letters/teacher-column/detail/?id=34>



会場：横浜国立大学 教育講義棟6号館 1 階

対象：外国につながる子どもの支援/指導に携わる先生/支援者の方

定員：80名 申込締切＝1月25日（月）

なお、定員に達し次第、締め切らせていただきます

参加費：1000円

内容：1日目<理論編>

文化的言語的に多様な背景を持つ子どもの「ことばの力」をみとる際に大事な要素は何か？改訂版DLAに「書く」がなくなった理由は？など、「ことばの力のものさし」の特徴を理解するための理論を学ぶとともに、「書くことの意義と支援/指導のあり方」を考えます。



2日目<実践編>

<理論編>で学んだことをもとに実際に、小学生～高校生が書いた作文を「ことばの力のものさし」を使ってアセスメントしてみます。そして今後、この子どもにどのような支援/指導をしていくと良いか、グループごとに話し合います。

申込方法など詳細は裏面をご覧ください

子どもの「書く」力をのばすために

～文化的言語的に多様な背景を持つ子どもたち（小学生～高校生）の
「書く」力の評価と支援/指導～

2027年1月30日（土）13:00～16:00 <理論編>

31日（日）13:00～16:00 <実践編>



1/31（日）10:00-11:00 佐野先生と相談&茶話会（申込済の希望者）

2025年4月に文部科学省より公開された「文化的言語的に多様な背景を持つ外国人児童生徒等のためのことばの発達と習得のものさし（通称『ことばの力のものさし』）」は、義務教育段階から高等学校段階までの外国人児童生徒等のことばの力を包括的に捉え、個に応じた指導・支援のための「評価の枠組み」として開発されたアセスメント・ツールで、ことばの力を、（1）「思考・判断・表現を支える包括的なことばの力（複数言語での力）の発達ステージ」（「包括的なことばの発達ステージ」）、（2）「日本語固有の知識・技能の習得ステップ」（「日本語の習得ステップ」）の2軸で評価します。「ことばの力のものさし」の特徴とその背景理論について理解を深めるとともに、『ことばの力のものさし』によるアセスメントとその後の支援/指導についての話し合いなど、実践で役立つ活動を行います。ご関心があるみなさまのご参加をお待ちしております。

申し込み：[こちら](https://forms.gle/A9bXDhVmvueCLXX36)へ→ <https://forms.gle/A9bXDhVmvueCLXX36>



※2日間参加できる方を優先しますが、一日のみ参加希望の方も受け付けます。

※お申し込みいただいた方には、1/26（火）までにメールにて詳細のご案内をお送りします。メールが届かない場合には、下記までお問い合わせください。

事前課題：本ワークショップでは「ことばの発達と習得のものさし（略称「ことばの力のものさし」）」を使ったアセスメントをしてみます。

事前に以下の課題をしておくことをお勧めします。より理解が深まります。

① 「ことばの発達と習得のものさし 実践ガイド」第3章、第6章

お時間がある方は、第1～2章も読んでおくことをおすすめします。

https://www.mext.go.jp/content/20250620-mxt_kyokoku-000042836_02.pdf

② 「ことばの発達と習得のものさし パッとわかるまるわかりガイド」を

各自でご準備いただき読んできてください。当日もお手元で見られるようご用意ください。

https://www.mext.go.jp/content/20250620-mxt_kyokoku-000042836_01.pdf

「ことばの力のものさし」やDLAについて事前に学びたい方はこちらもぜひご参加ください
→<https://drive.google.com/file/d/1Xio9QHGXhCaewPk6OnE-vcX9Q1GvfSRm/view?usp=sharing>



お問い合わせ：横浜国立大学（河野 Kawano・嶽肩 Takegata）

yokohamanul@gmail.com